

s-nutri@foodchemicalnews.co.jp TEL:03-3238-7818/FAX:03-3238-7898

<サマースクール2015お申込書>

お申込先 ☞ FAX : 044-739-8848

どちらのFAXでも
受付しております

FAX : 03-3238-7898

参加費
1,000円
(税込)

締切
2015年
7月31日
(金)

わかりやすい実技指導もあります。動きやすい服装で
お気軽にご参加下さい。
専門分野の先生に直接、質問できるチャンスです。
ぜひこの機会をご利用下さい。お待ちしております！



プログラム開催日：8月8日(土)

10：30～11：20 (50分) スポーツ栄養

夏場の食事と水分補給の効果的な摂取方法について

株式会社ザオパ 青山学院大学フットネスセンター 藤井 瑞恵先生

11：20～12：00 スポンサープレゼンテーション予定 (40分)

12:00～13:00 お昼休憩

13：00～14：30 (90分) ユース世代に向けたトレーニング (+実技)

成長期のこどもたちの正しい筋力トレーニングについて

東海大学スポーツ医科学研究所 教授 有賀 誠司先生
※ヨガマツトをご用意しております。(協賛：株式会社ザオパ)

14：40～16：10 ユースを預かる指導者・保護者へ～救急救命について (+実技) (90分)

国士舘大学 体育学部スポーツ医科学科 大学院 救急救命システム研究科
医学博士 主任教授 田中秀治先生

詳細は
ウェブ
サイトを
ご確認ください。

<お申込について>

①ご参加1名様につき1枚のお申込用紙をご利用ください。

②お支払いは当日です。

③お申込書が届き次第、ご登録頂きましたメールアドレスにお申込完了メールを返信致します。チケットの代わりに
なりますので、当日、ご持参ください。

④ウェブサイトでも登録可能です。www.sportylife.jpをご確認ください。

<お願い>

当日は混雑が予想されます。本申込書にて事前予約されますとお席は確保されます。もし当日のご参加が出来なくな
りました場合は事務局までご連絡いただけますよう、ご協力の程よろしくお願い申し上げます。

☐ 参加します (参加費：1,000円) ☐ 回をお願いいたします。

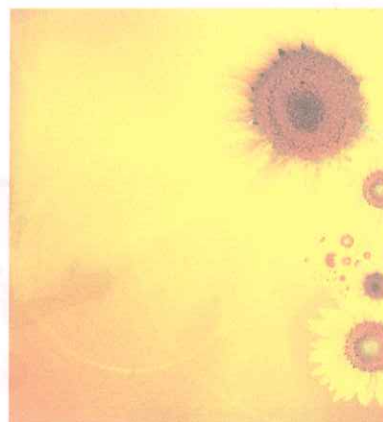
お名前：	該当項目に○をし てください	領収書：	必要	必要なし
貴社・団体名：	部署・役職：			
ご住所：〒				
メールアドレス：	お弁当(お茶付) ¥1,080(税込)	あり	なし	
TEL：	FAX：			
関連する競技：	該当項目に○を してください	指導者	保護者	その他

とどろきアリーナ開設20周年
記念特別企画

川崎市からオリンピック・パラリンピアンを育てよう！

～子どもの体力向上推進運動～
競技力向上に欠かせないからだづくり

スポーツ食育教室サマースクール2015



会期：2015年（平成27年）8月8日（土）

会場：会館とどろき 2F

【お問合せ先】株式会社食品化学新聞社 スポーツニュートリション担当 島野・田平
s-nutri@foodchemicalnews.co.jp

〒101-0051 千代田区神田神保町3-2-8昭文館ビルTEL:03-3238-7818/FAX:03-3238-7898

詳細はこちらから☞（6/10より開設）<http://www.sportylife.jp>

食品化学新聞社は“スポーツ栄養推進都市かわさきをめざして”応援しています

企画趣旨

食品化学新聞社創立50周年記念事業の一環として、2015年2月14日に川崎市スポーツ協会主催（共催・企画立案・運営：食品化学新聞社）にて、「第1回スポーツ食育教室」を川崎商工会議所にて開催いたしました。

同教室は、2020年東京オリンピック・パラリンピックを控え、主力になる現在のユース世代のアスリートに対して、選手の競技力向上、選手へのサポートでカギとなる指導者・保護者を対象に、「スポーツ栄養」、「スポーツ医・科学」、そして「スポーツメンタルトレーニング」の3分野に焦点をあてたイベントを実施いたしました。

今回のサマースクール2015は、「スポーツ栄養」「トレーニング」「救命救急」の各スペシャリストが講演をいたします。「スポーツ栄養」では夏場の食事、水分補給の効率的な摂取法、「トレーニング」、「救命救急」では軽い実技を加えながら、実践ですぐに活用できる方法をご案内いたします。

スポーツのまち・かわさきが率先してスポーツを通じた食事の重要性を訴え、“スポーツ栄養推進都市”に発展するよう行動していくとともに、競技力向上、体力づくりのための啓発を行っていきます。

今後も、「食とスポーツをつなぐ」を推進していく中で、指導者・保護者層を対象に、川崎市スポーツ協会と弊社は協働で定期的なイベントを行っていきます。世界に通用する競技者・指導者の育成と発掘を目的に、スポーツが盛んな川崎市をはじめ、各自治体と連携して「スポーツ食育教室」を展開していきます。

企画趣旨にご賛同頂きまして、ぜひご参加をよろしくお願い申し上げます。

世界に通用する競技者・指導者の育成そして発掘



スポーツ医・科学

◇競技力向上のためのからだづくり

◇怪我の回避、スポーツ障害の予防、またリハビリのためのからだづくり（筋力アップ、骨格の調整、持久力アップ）他

◇スポーツ時の救急救命

◇からだの機能能力を高める、競技力向上、またスポーツ障害・予防・リハビリのために、正しい計測、測定の必要性を把握し、トレーニング方法や競技者にあったスポーツ用品の選び方などの理解を深める



スポーツ栄養

◇パフォーマンス向上、健康管理、スポーツ障害の予防のためにバランスのとれた食事内容（必要な栄養素）と食事のタイミングと摂取量

◇それぞれのカテゴリーに合わせた栄養の摂り方（性別、年代別、競技別ほか）

◇選手の体調に合わせた補助食品の摂り方、栄養管理の重要性



開催概要

川崎市からオリンピック・パラリンピアンを育てよう！

～子どもの体力向上推進運動～ 競技力向上に欠かせないからだづくり スポーツ食育教室サマースクール2015

◇会期 2015年8月8日(土)

◇時間(予定) 10:30～16:10

◇テーマ スポーツ栄養、スポーツ医・科学(トレーニング・救急救命)

◇会場 会館とどろき(規模100人) 〒211-0051川崎市中原区宮内4丁目1番2号 TEL: 044-733-3337

◇主催 公益財団法人川崎市スポーツ協会



◇共催 食品化学新聞社

◇後援(予定) 川崎市・川崎市教育委員会・神奈川県教育委員会・公益財団法人神奈川県体育協会・川崎商工会議所・川崎市PTA連絡協議会・川崎市スポーツ指導者協議会・川崎市スポーツ推進委員連絡協議会・川崎市総合型地域スポーツクラブ連絡協議会・川崎市障害者スポーツ指導者協議会・川崎市レクリエーション連盟・かわさき市民放送・東京新聞・宮山スポーツプラザ・神奈川新聞社・tvk(テレビ神奈川)

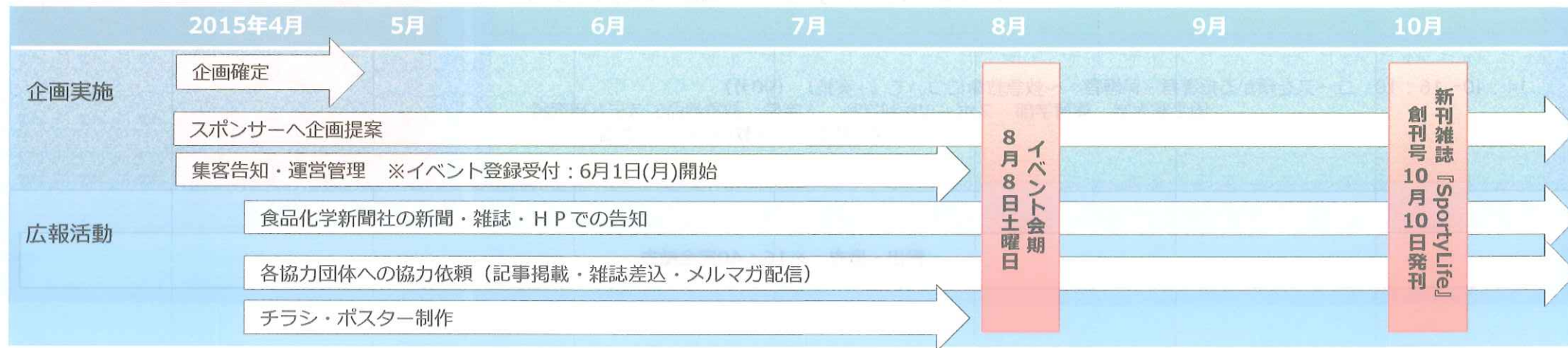
◇協賛 スポンサー企業

◇聴講対象 小学中学・高校生を対象にしたスポーツ指導者、学校関係者、保護者

◇参加費 1,000円(税込)

◇運営事務局 食品化学新聞社

※主催、後援団体様の金銭のご負担はありません。集客告知でのご協力をお願いいたします。



企画(イベントプログラム)

9:00~10:00 搬入・準備

お部屋名：けやき (スクール100名)

※各スケジュールは時間の変更あり

10:30~11:20 ユース世代に向けたスポーツ栄養 (50分)

株式会社ザオバ 青山学院大学フィットネスセンター 藤井 瑞恵

11:20~12:00 スポンサープレゼンテーション予定 (40分)

12:00~13:00 ランチ (60分)

13:00~14:30 ユース世代に向けたトレーニング(+実技) (90分)

東海大学スポーツ医科学研究所 教授 有賀 誠司

※ヨガマットをご用意しております。(協賛：株式会社ザオバ)

14:40~16:10 ユースを預かる指導者・保護者へ～救急救命について(+実技) (90分)

国土館大学 体育学部 スポーツ医科学科 大学院 救急救命システム研究科
医学博士 主任教授 田中 秀治

ホワイエ (けやきの隣)

休憩コーナー

※企業の商品展示 (予定)

搬出・撤去 ※16:40完全撤去

◇会社名：株式会社食品化学新聞社
 ◇代表者：川添辰幸
 ◇創業年月日：昭和39年5月
 ◇所在地：〒101-0051 東京都千代田区神田神保町3-2-8 昭文館ビル
 ◇TEL：03-3238-7818（代）／ FAX：03-3238-7898
 ◇業務内容：新聞・雑誌・書籍の発行販売、展示会・セミナーの開催 他

食品化学新聞社は1964年、食品添加物および食品素材の専門紙「食品化学新聞」（週刊）を発行。以来、関連業界唯一の専門紙として独自の情報網と市場データをもとに、迅速で的確なニュースの提供に努めてまいりました。85年5月には新聞発刊1000号突破を記念して「月刊フードケミカル」を創刊、食品化学の領域を究める技術情報専門誌として関係者から高い評価を得ております。

さらに、96年5月、WTO（世界貿易機関）体制の発足、食品&素材流通のボーダレス化の時代に即応し、米国のE.J.クラウス&アソシエート社と提携のもとに「明日の食を創造する技術者の祭典」を標ぼうし東京ビッグサイトにおいてifia JAPAN（国際食品素材/添加物展・会議）をスタートしました。

96年10月、厚生省はそれまで「早期発見、早期治療」の観点で進めてきた成人病対策を大きく転換、病気の予防に重点を移すことを決議、成人病という名称を改め「生活習慣病」という概念を導入しました。疾病の一次予防、健康の維持増進は食から。当社はこうした考えに基づき、食の健康機能に着目した月刊誌「FOOD Style 21」を97年6月に創刊、さらにその姉妹紙として「HJ・健康食品新聞」（2002年6月）を発刊し、食を取り巻く環境の変化に対応、食品産業の健全な発展に寄与すべく最新情報を発信しております。

2014年5月には創立50周年を迎えました。独自の情報網と市場データをもとに食品素材・添加物、機能性食品分野をテーマに掲げ、これからもみなさまにご愛顧される新聞社を目指し、食品業界を取り巻く国内外の活発な動きに対して、迅速、且つ的確なニュースの提供に努めて参ります。

新聞・雑誌・書籍発行



食品化学新聞
(1964年5月創刊)



HJ健康食品新聞
(2002年5月創刊)



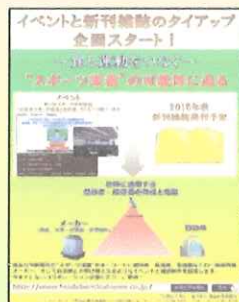
月刊フードケミカル
(1985年5月創刊)



月刊FOOD STYLE21
(1997年6月創刊)

業界向け

一般向け



2015年10月10日発行予定

新刊雑誌: SportyLife
～食とスポーツをつなぐ～

展示会・セミナー主催事業ほか

主催事業（例）

ifia Japan2015（第20回国際食品素材/添加物展・会議）

HFE Japan2015（第13回ヘルスフードエキスポ）

☞展示規模（2014年実績）来場者数：32,961人、
出展社団体数：444社・団体、展示規模707小間(6,363㎡)

業界
向け

ifia JAPAN 2015

第20回 国際食品素材/添加物展・会議

2015. 5 / 20(木)・22(土)

ifia/HFE JAPANとは

出展のご案内

来場者のご案内

前回の実績

HFE JAPAN 2015

第13回 ヘルスフードエキスポ

2015. 5 / 20(木)・22(土)

JAPANESE

事務局へのお問い合わせ

サイトマップ

お問い合わせ

